

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価 平成30年10月18日

校長 杉森 徳行

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/> E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童、保護者、教職員による学校評価のアンケートを行いました。その結果をお知らせします。
3者に対し、同じ設問のアンケートをすることで、良い点と課題を明確にし、よりよい学校作りに生かしていきたいと思います。今回は、2つの課題に対し、少しでも課題解決につなげていく所存です。

○第1回学校評価アンケート結果（7月）

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない
プラス…ABの合計マイナス…CDの合計

		A	B	C	D	プラス	マイナス
①子どもたちは、授業中、すすんで意見を発表し、先生や友達の話をしっかりと聞いています。	児童	47.8%	39.4%	9.1%	3.7%	87.2%	12.8%
	保護者	27.2%	57.6%	14.4%	0.8%	84.8%	15.2%
	教職員	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	71.4%	28.6%
②子どもたちは、授業中、ノートをしっかりと書いている。	児童	60.9%	25.8%	10.7%	2.6%	86.7%	13.3%
	保護者	25.0%	63.6%	11.4%	0.0%	88.6%	11.4%
	教職員	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
③子どもたちは、すすんで読書をしている。	児童	42.9%	29.4%	17.4%	10.3%	72.3%	27.7%
	保護者	16.8%	41.2%	32.1%	9.9%	58.0%	42.0%
	教職員	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	57.1%	42.9%
④子どもたちは、決めた家庭学習をしている。	児童	56.3%	30.9%	8.8%	4.0%	87.2%	12.8%
	保護者	24.6%	50.0%	15.7%	9.7%	74.6%	25.4%
	教職員	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%
⑤子どもたちは、相手の気持ちを考え、優しくすることができる。	児童	48.4%	38.3%	11.2%	2.1%	86.7%	13.3%
	保護者	25.0%	56.8%	16.7%	1.5%	81.8%	18.2%
	教職員	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	62.5%	37.5%
⑥子どもたちは、時や場に応じた言葉づかいをしている。	児童	32.6%	37.9%	21.4%	8.1%	70.5%	29.5%
	保護者	18.7%	55.2%	25.4%	0.7%	73.9%	26.1%
	教職員	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	50.0%	50.0%
⑦子どもたちは、家や学校でほめられている。	児童	39.6%	37.5%	16.9%	6.0%	77.1%	22.9%
	保護者	16.0%	71.0%	11.5%	1.5%	87.0%	13.0%
	教職員	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	87.5%	12.5%

⑧子どもたちは、困ったことがあれば、家人の人や先生に相談している。	児童	42.0%	24.9%	13.7%	19.4%	66.9%	33.1%
	保護者	25.0%	65.9%	6.8%	2.3%	90.9%	9.1%
	教職員	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑨子どもたちは、楽しく学校に通っている。	児童	66.5%	23.0%	7.3%	3.2%	89.5%	10.5%
	保護者	51.5%	47.7%	0.8%	0.0%	99.2%	0.8%
	教職員	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑩子どもたちは、学校のルールを守っている。	児童	51.3%	37.6%	7.5%	3.6%	88.9%	11.1%
	保護者	29.5%	64.4%	5.3%	0.8%	93.9%	6.1%
	教職員	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%
⑪子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。	児童	53.8%	22.9%	16.1%	7.2%	76.7%	23.3%
	保護者	15.9%	48.5%	24.2%	11.4%	64.4%	35.6%
	教職員	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	37.5%	62.5%
⑫子どもたちは、気持ちのよいあいさつをしている。	児童	73.8%	18.7%	4.6%	2.9%	92.5%	7.5%
	保護者	26.3%	57.9%	15.0%	0.8%	84.2%	15.8%
	教職員	28.6%	42.8%	28.6%	0.0%	71.4%	28.6%
⑬子どもたちは、すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	60.6%	20.2%	12.1%	7.1%	80.8%	19.2%
	保護者	42.1%	46.6%	10.5%	0.8%	88.7%	11.3%
	教職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑭子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	46.5%	28.1%	15.8%	9.6%	74.6%	25.4%
	保護者	25.6%	57.9%	15.7%	0.8%	83.5%	16.5%
	教職員	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	42.9%	57.1%
⑮子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。	児童	60.4%	24.0%	9.6%	6.0%	84.4%	15.6%
	保護者	39.1%	48.9%	8.2%	3.8%	88.0%	12.0%
	教職員	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	57.1%	42.9%
⑯学校は、整理整頓され、学習環境が整っている。	保護者	29.3%	54.9%	14.3%	1.5%	84.2%	15.8%
	教職員	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%
	児童	48.1%	47.4%	3.7%	0.8%	95.5%	4.5%
⑰学校は、学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	教職員	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	保護者	36.8%	59.4%	3.0%	0.8%	96.2%	3.8%
	児童	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

養正小学校の課題

③子どもたちはすすんで読書をしている。

子どもたちですが、特に半数近くの保護者と教職員が「すすんで読書をしている」に関しては否定的な回答結果がでています。学校の取組として、大きく2つあります。図書室の活用と学級の読書環境です。

○図書室の活用

- ・読書週間・・・教職員による読み聞かせや図書委員会によるクイズや読み聞かせバザール
- ・学校司書による図書室の整備 ・東山総合支援学校生徒による図書室整備や読み聞かせ
- ・ぶつくままクラブ・・・地域の方による読み聞かせ
- ・選書会・・・新刊図書など多くの本から図書室に配架してほしい本を子どもが選ぶ

など

○学級の読書環境

- ・朝の10分間読書 ・読書バッグの活用・・・机の横に本を常備 ・読書ノートの活用

など

これらに加え、今後、たくさん本を読んでいる子を全校に紹介する取組をしていきます。1年間に低学年は100冊、中学年は80冊、高学年は60冊という目標があります。それを達成した子を紹介することで励みにし、読書する機会を増やしてほしいと考えています。ぜひ、ご家庭でも本を読む機会を増やしていただけたらありがとうございます。

⑥子どもたちは、時や場に応じた言葉づかいをしている。

学校では、敬語を使うように指導しています。設問にあるとおり、特に、授業中や校外活動といった公の場では、敬語を使えるようにしたいと考えています。少しずつ意識はしていますが、友達同士となると、言葉が荒くなってしまいます。そこで、学校としては、今までの取組に加えて、2つのことに取り組んでいきます。1つ目は、ふわふわ言葉集めです。良い言葉とはどういうものなのか、子どもたちで考え、集まった言葉を掲示します。「見える化」することにより、意識が高まると考えています。2つ目は、言葉チェック表です。自分の言葉づかいを自己評価します。子ども自らが、課題意識をもって、言葉づかいを直してほしいと考えています。

自由記述欄より

○アンケートに答えるとき、ノートをしっかり書いているかなどは、よく分からぬ部分があります。

○実際に学校での生活を全て見ているわけではないので、何とも・・・と思う質問もあり、答えづらいです。

子どもたちの意識を確かめるためのアンケートでもあり、比較するため、保護者の方にも同じ設問でお聞きしています。分かりにくいと思いますが、例えば、設問②ならば、ノートを家に持つて帰っていますので、そのノートを見ていただいてご判断いただくとともに、そのときに「よく書いているね。」と励ましていただけたとあります。

○世間では、置き勉についての議論が活発になされています。朝、重たいランドセルを背負わせる時、とてもかわいそうに思うので、私も置き勉が良いと思います。プールのサンダルも置きっぱなしで良いのでは?合理的ではない部分が学校の文化に多数存在しているのですね。慣習を変えるのは難しいのかなあと思います。

置き勉に関しては、様々なご意見があると思います。たしかに、ランドセルの中身は重いものです。教科書・ノート・ドリルがぎっしりつまっています。学校としては、不定期に使うもの(習字セットや絵の具セット、教科によっては教科書)は、学校保管とし、定期的に使うものは、持ち帰ることにしています。教科書やノートは家庭学習に活用していただきたいと考えています。さらに、時間割をあわせるという、準備の大切さを学んでほしいと考えています。

○子どもの通学路、学校での安全点検をしっかりしてほしい。

通学路に関しては、月1回、PTA・地域・教職員による朝の交通当番をしています。また、スクールガードリーダーの方も不定期ですが、見守っていただいている。学校内に関しても、月1回教職員による安全点検を行っています。

また、6月の地震によるブロック塀による事故を教訓に、本校でもブロック塀の撤去を行っています。

○夏休みに陸上部の活動してください。

今年度、夏休み中の活動を検討しているときに、熱中症の危険性が強く呼ばれていましたので、夏場の陸上は子どもたちの体調面を考え、休止しました。

○算数の計算で指を使って数えない指導等、訓練のように思える指導方法には、疑問を感じます。道徳の授業も、初めてのこと、新しいことをどんどん吸収する学童期だからこそ、多様な価値観を認める内容にしていただけるようお願いします。

指を使っての計算、子どもによっては有効であると考えています。決して、禁止しているわけではありません。ただ、学年が進むにつれ、指で計算しなくともよくなるため、徐々に指を使わずに計算できるよう指導はしています。道徳の授業は、ご指摘のとおり多様な考え方大切にしています。(もちろんあまりにも片寄った考えは除きますが。) 多様な考え方をもって、議論することにより、より考えが深まると思っています。

○寒さを無視した服装のルールはいかがなものかと思います。子どもが寒いと判断したら、室内でも上着を着させてください。冬の体育の授業では、子ども自らの判断で長袖長ズボンの体操服を着ることを許可してほしいです。着心地が良いかどうかは子どもが判断すべきです。先生たちが意見を子どもたちに押しつけています。LGBTなどだけが人権問題ではなく、寒かったらそれに合わせる服装を選ぶ権利だって大事な人権です。最も身近な人権を忘れないでほしいです。

それに、6月18日に起こった地震の対応ですが、校区内では被害がないにもかかわらず、休校・給食なしは過剰反応ではないでしょうか。もしその日の給食の食材が廃棄されいたら、被害時で食べ物が最も必要という状況にその対応としていかがなものかと思います。

お子さんのことを思ってのご意見だと思います。まずは、教室での上着の件ですが、学校としては、室内では上着を脱ぐというマナーと学習しやすさということを大切にしています。また、教室は空調で温度調節もしています。体育の授業では、寒い場合、長袖を着るように指導しています。ただ、長ズボンに関しては、運動しやすい服装が望ましいということで、推奨はしていません。ただ、体調面によって、半ズボンだと学習できないというお子さんに関しては個別に対応させていただきます。

地震に関しては、たしかに幸いにも被害はありませんでした。ただ、余震がいつ起きるのか誰もが判断できません。京都市教育委員会の判断として、市内のいずれかの地点で震度5弱以上の地震が発生した場合、全市一律休校となります。給食に関しては、ご指摘のとおりで、避難所になった場合、有効活用できるよう、教育委員会に掛け合っているところです。

○みんな、学校の外で会っても、気持ちのよい挨拶をしてくれます。

地域で育つ子どもたちにとって、挨拶をすることにより、顔見知りが増えています。また、これを書いてくださった保護者の方も、気持ちのよい挨拶をしていたので、子どもたちも同じようにしているのだと思います。

○いつもありがとうございます。

学校としては、保護者の方からの感謝の言葉は励みになります。

学校運営協議会より

- ・言葉づかいは気になる。周りの大人の言葉づかいを意識することも大切。
- ・学習準備や身の回りのことを子ども自身で出来るようになることが大切。
- ・学校環境をよりきれいにするために、地域・PTA・学校が協力して取り組むことが大切。

